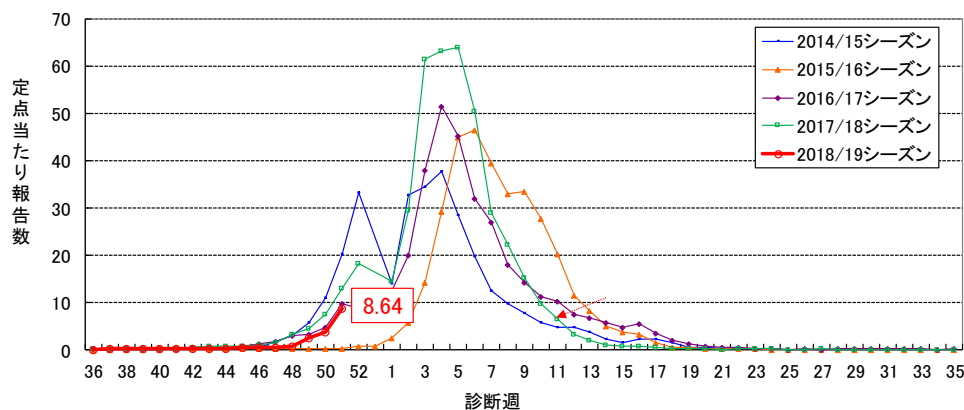


【今週の注目疾患】

【インフルエンザ】

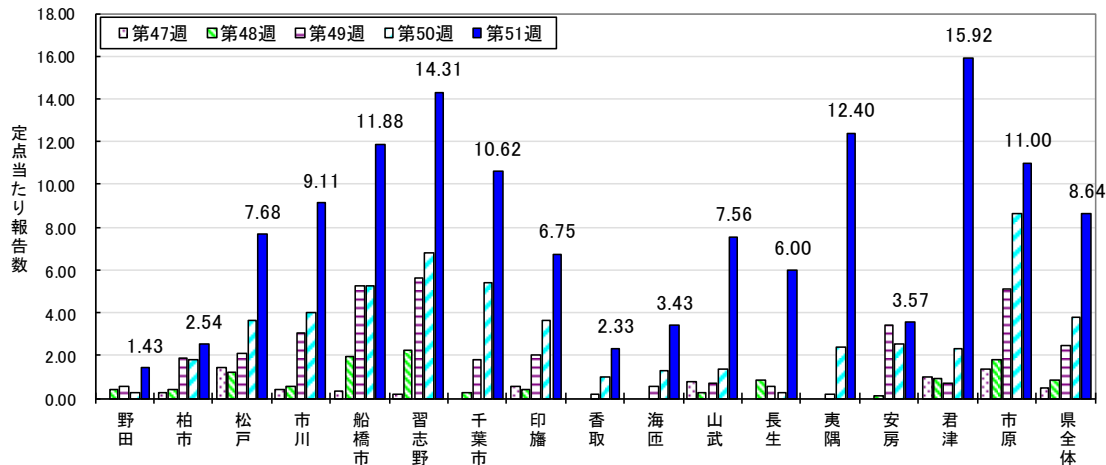
2018年第51週に、県内定点医療機関から報告されたインフルエンザの定点当たり報告数は、定点当たり8.64(人)であった(図1)。

図1: 県内定点医療機関から報告されたインフルエンザの定点当たり報告数の推移(シーズン別)



県内16保健所管内全てにおいて前週より報告が増加し、6保健所管内において定点当たり報告数10.00を超えた。報告の多い上位3保健所管内と定点当たり報告数は、君津保健所(15.92)、習志野保健所(14.31)、夷隅保健所(12.40)であった(図2)。

図2: 直近5週のインフルエンザの定点当たり報告数の推移(保健所別)



2018年51週の年齢群別報告割合は、5～9歳(35.0%)、10～14歳(23.8%)、0～4歳(13.3%)で高く、2018/19シーズン全体では、5～9歳(36.4%)、10～14歳(21.2%)、0～4歳(15.2%)等となっている。2018年51週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、1,680例中A型1,669例(99.3%)、B型10例(0.6%)、A and B型1例(0.1%)であった。2018/19シーズン合計では、3,633例中A型3,582例(98.6%)、B型47例(1.3%)、A and B型2例(0.1%)、A or B型2例(0.1%)となり、A型インフルエンザ主流の傾向が続いている。